

消防だより



虹のマーチ

2021.3
第48号

春の火災予防運動実施中

実施期間 3月1日(月)~3月7日(日)



川越中央消防署(署長・警備担当・救急担当・救助担当)

川越地区消防組合

家族、財産を守るためには、火災予防!

ご自宅を見て
□にチェック!

チェックがつかないところは、対策を考えてみましょう。
【対策例】消火器を置く、高い場所に物を置かない。



- 住宅用火災警報器を設置している。
- 住宅用火災警報器を点検している。
- 住宅用火災警報器を交換した。



- 地震時の対策をしている。
- 家具を固定している。
- 火災時の対策をしている。



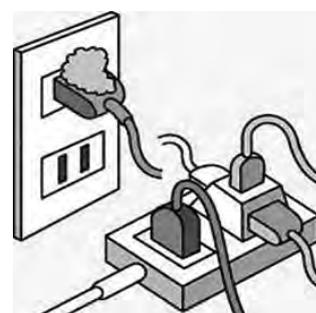
- 調理中に、台所から離れない。
- 定期的に清掃している。



- 周囲に燃えるものはない。
- 間違った燃料が入っていない。



- 寝たばこをしていない。
- たばこは、灰皿に捨てている。



- コンセントを定期的に清掃している。
- コンセントをたくさん繋げていない。

こちらにあるのは火災予防の一部です。
火災予防に関するご相談は、お気軽に消防署までご連絡ください。
予防課 222-0744



「予防救急」ってなに?

ケガや病気の中には、日常生活の中で少しの注意や心がけで防げるものがあります。救急車が必要となるほどの大事に至らないように、日頃から注意し心がける意識や行動を「予防救急」といいます。今回は、大ケガとなる恐れもある「転落」について紹介します。

○階段などには手すりを配置しましょう。

階段では、上りよりも下りの方が、転落事故が起きやすくなります。階段に滑り止めをする、滑りにくい靴下をはくことも効果的です。



○ベッドからの転落を防ぐために柵を配置しましょう。

転落を防ぐのが難しい場合は、床に衝撃吸収用マットを敷くなど、転倒しても大ケガにならないような工夫をしておきましょう。

○大人が脚立などを使用して作業をするときは、補助者に支えてもらいましょう。

特に筋力やバランス機能などの身体機能は高齢になるほど低下するため、つまずきやふらつきが多くなり転落するリスクが高まります。

○子どもの踏み台になるものを置かないようにしましょう。



子どもは日々成長し、行動範囲が広がっていきます。昨日上れなかった場所に、今日は上っているかもしれないません。窓際やベランダには踏み台になるものを置かないようにしましょう。

消防局救急課

Tel 222-0160



新型コロナウイルス感染症の影響に伴う119番通報について

新型コロナウイルス感染症が世界的に拡大していることから、当消防局消防指令センターでは、119番通報を受けた時に従来お聞きする内容に加え、次の事項について確認しています。

- 発熱症状の有無
- せき、息苦しき等、呼吸器症状の有無
- 味覚、嗅覚障害の有無
- 新型コロナウイルス感染者または感染疑いの方との濃厚接触の有無



これらの内容に該当し、新型コロナウイルス感染症の疑いがある場合は、消防指令センターから保健所へ連絡してからの対応となる場合があります。下表「119番通報の内容」を参考に、スムーズな119番通報ができるようにしましょう。

指揮統制課 Tel 226-7408

正確な119番ができるように「119番通報メモ」を切り取って電話の近くにおきましょう

✕キリトリ線

119番通報メモ



火事・救急は局番なしの「119」

住所

例：神明町48-4 川越地区消防局です。

目標

※場所確定のために隣の建物や隣人のお名前を必ず聞きます。

例：〇〇さんの家の隣です。〇〇会社の北側です。

電話番号

その他、詳しい状況をお聞きしますので分かる範囲で伝えてください。

✕キリトリ線

✕キリトリ線

119番通報の内容

消防指令センター	通報者	
119番川越消防です 火事ですか 救急ですか	火事です	救急です
住所を教えてください	川越市(川島町)〇〇町□□番地です	
名前を教えてください	〇〇です	
隣の建物を教えてください	□□さん宅の隣です	
近くの目標を教えてください	〇〇会社(公園や店舗)の北側です	
どうしましたか (何が燃えていますか)	〇〇さん宅が燃えています	人が倒れています 交通事故です
電話番号を教えてください	〇〇〇-〇〇〇〇です (119番通報をかけている電話番号を伝えてください)	



川越市消防団だより

第10号

消防団長あいさつ



川越市消防団
団長 栗原隆

川越市消防団団長の栗原です。
市民の皆様には、日頃より消防団活動に対する多大なるご理解とご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、本年度は新型コロナウイルス感染拡大の影響により、川越市消防団において当初予定されていた消防ポンプ認定審査会や研修会、特別点検といった行事や活動が軒並み中止や延期とせざるを得ず、団員の災害対応技術や知識を習得する機会も大幅に制限されました。

このような状況下であっても、火災や自然災害への対応力維持のために必要な新任消防団員に対する研修や機械器具等の点検等は、対策を十分に講じた上で実施しており、研修ではウェブ教材も一部で活用しております。各分団においては全体研修が実施できない代わりに分団長を始めとする先輩団員が指導役となり新任団員や後輩団員に対して、これまでの研修や経験で蓄積した技術や知識を伝達し、団員の災害意識の維持向上に努めてくれています。

安全運転研修
装備品の点検
消火活動訓練
傷病者搬送補助訓練

これまでの研修や経験が活かされています。

普段はそれぞれが会社員や自営業、農業などの仕事に就き、いざ火災や自然災害が発生した際に参集して活動する消防団にとって組織としての一体感の醸成や団員相互の意思疎通はとても重要な要素です。今後も同様の状況が続く場合には、コミュニケーションをいかに図れるかが課題になると考えています。また、地域防災力の充実強化のためには継続した団員確保は不可欠であり、制度面での充実を図るなどにより消防団の魅力を高めて新規団員の入団につなげていきます。

川越市消防団はこれからも市民の皆様への安全・安心を守るため活動を継続してまいりますので、引き続き市民の皆様並びに団員家族の皆様のご理解とご支援ご協力をお願い申し上げます。

定期無線通信試験の実施

川越市消防団では、災害対応時や祭礼などの警戒活動時において必要となる情報を迅速かつ的確に伝達するために、デジタル無線機及びデジタル簡易無線機を導入して運用しております。

団本部並びに各分団に配備されているデジタル無線機(車両積載及び携帯)は、平常時であっても団本部女性団員及び各分団役員により定期的に電波を発信して通信状況を点検確認しています。

無線設備を常に万全の状態に維持し、通信を行う団員の無線技術向上を図ることで、災害対応時等の情報のやりとりを円滑にして被害の早期発見と軽減につなげることに期待されます。

無線機操作を学ぶ



消防団員
募集中

川越市に在住・在勤・在学中の18歳以上の方

【問い合わせ先】川越地区消防局 総務課 Tel 222-0741

【災害時自分と家族を守る方法】研修会でスキルアップ

川越市消防団女性団員は、スキルアップを目的として内外から講師を招き団員向けの研修会を実施しています。今年度は消防団の一員で防災士でもある田中団員が講師となり研修会を行いました。

女性団員は地域の防災教室などのイベントで指導役となることも多いので、このような研修会を通じて新しい知識の習得や技術の向上に努めています。研修会では、災害時に想定される場面ごとにポイントを押さえて行われました。

- ①自宅や学校、職場などの危険度を事前を知るため川越市から配布されている『地震ハザードマップ』『水害ハザードマップ』を活用する。
- ②非常時になってからではなく日頃から食料や飲料水等の備蓄を心がける。
- ③地震による家具の転倒を防ぐために転倒防止装置をつけておく。
- ④断水停電時には下水道が使えなくなる場合があるため、トイレについても備えておく。
- ⑤長期化する避難生活での健康維持には口腔ケアも大切となるため、ウェットシートタイプなど、水を使わずに使える口腔ケア用品も活用する。
- ⑥忘れてしまいがちな外出先での防災対策は、意識して目的地周辺のハザードマップを確認し、避難所などを共有しておく。
- ⑦台風は天気予報で進路や大きさ強さなどの事前情報が得られるので、接近する前に建物被害を最小限にするための養生や停電への備え等を万全にしておく。

コロナ禍の状況であっても、災害はいつ発生するかわかりません。もしもの時のことを考え、日頃から家族や身近な人達と災害について話し合い備えましょう。



対策を講じて行われた研修会



団員研修



産業フェスタ



子供育成会

研修会で習得した知識は、防災教室やイベントで活かされます。(写真は昨年度までのものです)

団員紹介

さまざまな経験や思いを持ちながら活動している川越市消防団の団員を紹介します。



イベントにて蝶野正洋氏と



子どもと孫のお宮参り

【団本部 齋藤由香団員】

川越市消防団の女性団員1期生である私は、入団して17年目を迎えました。現在は分団長としての職務を終え女性消防団員の顧問として、後輩団員たちを見守っています。

17年の間に、色々な経験をさせて頂きましたが、楽しくもあり、時に厳しくもありました。しかしそれ以上に、目的意識の高い仲間たちの中で、沢山の事を学べたからこそ、今の私があるのだと感じています。

なによりも消防団を通じて沢山の仲間が増えました。今は休止中ですが元団員とも山部でトレッキングに行ったり、食事に行ったりと絆を深めています。私にとって消防団の仲間は財産です。

現在も消防団員、一家の大黒柱、会社員、母親、可愛い孫と暮らすおばあちゃんです。

地域に根差し、同じ目的をもって活動する仲間になりませんか？貴方もなれます地域を守る消防団員。

川島町消防団だより

第10号

第二分団の車両が新しくなりました

令和2年12月13日(日)、川島消防署において、消防ポンプ車両の納車式が行われました。

川島町消防団の保有する消防ポンプ車両の老朽化に伴い、配備から15年が経過した第二分団の車両が更新されました。



納車式では、小川団長より第二分団の小川分団長に鍵が引き渡され、新車両がお披露目されました。

小川団長は「車両、装備、ポンプの取り扱い方法を熟知して、災害現場でその能力を十分に発揮していただきたい。」と語りました。

また、納車式後には、メーカー担当者から車両の取り扱いやポンプ・装備の操作方法について説明を受けました。

柳川分団長は「身の引き締まる思いです。この車両をしっかりと使いこなし、地域住民の安心安全のため活動していきたい」と話しておりました。



歳末特別警戒

川島町消防団では毎年、年の瀬に特別警戒として、各分団が担当管内を巡回する活動を行っています。

これは、歳末を迎え、火気を使用する機会が多くなり、火災の発生が予想されることから、警備体制を強化することと住民の皆さんの防火意識の高揚を図ることを目的としております。

住民の皆さんには、火の取り扱いには十分に注意していただき、消防団とともに火災予防を心がけていただきますようよろしくお願いいたします。



新任団員実技研修

令和2年11月15日(日)、川越地区消防局にて「令和2年度新任団員実技研修」が実施されました。

この研修は、入団3年未満の消防団員を対象にしたもので、消防実技において基礎となる火災防御・救助法・普通救命講習などの重要な内容を学びます。

今年度は新型コロナウイルス感染防止対策で、研修を2回に分け、密にならないよう人数制限をし、消毒や健康管理を徹底して実施しました。

参加した新任団員たちは講義に熱心に耳を傾け、実技研修ではスキルを習得しようと積極的に取り組んでいました。

まだおぼつかない手つきではありましたが、早く消防団活動に慣れて、活躍してくれることを期待しています。



消防団とは？

みなさんが、知ってるようで意外と知らない川島町消防団の活動を少しご紹介しましょう。

消防団は、常勤の消防職員が勤務する消防署とは異なり、火災や大規模災害発生時に自宅や職場から現場へ駆けつけ、その地域での経験を活かした消火活動・救助活動を行う、非常勤特別職の地方公務員です。



火災や風水害などの災害活動をはじめ、川島町などが主催する訓練や行事に参加し、消火訓練や応急手当訓練などの指導を行っています。これらの活動をする消防団員は、災害を想定した実践的な教育・訓練を重ね技術の向上に努めています。

また、安心安全を守る「地域防災の要」として、火災予防には特に力を入れて活動しています。

消防団員募集

川島町消防団では随時消防団員を募集しております。18歳以上の川島町内に在住・在勤の方、私たちと一緒に活動しませんか？

「自分たちのまちは自分たちで守る」

の精神に基づき、年齢層は幅広く、会社員、自営業者、学生など様々な人が参加し活動しています。

詳しくは川島消防署消防課までお問合せください。お待ちしております。

【問合せ】

川島消防署消防課

Tel 2977-1979



新入団員紹介

川島町消防団に新たに仲間入りした団員を紹介します！



第二分団
細野団員

「この度、分団よりお声がけをいただき、入団を決意致しました。地域の皆様との出会いを大切に、消防団活動に取り組んでいきたいと思っております。」



第六分団
清水団員

「これから消防団員として、住民の方々の「安心安全」を守っていただけるよう頑張っていきたいと考えています。よろしくお願いたします。」

歳入

負担金 (消防行政を運営するのに必要な負担金 (組合を構成する川越市・川島町からの負担金))	5,039,892,692 円 (92.9%)
使用料及び手数料 (消防関係検査等の手数料等)	6,541,193 円 (0.1%)
財産収入 (基金運用の利子等)	4,246,096 円 (0.1%)
繰越金 (前年度から持ち越されたお金のこと)	65,149,814 円 (1.2%)
諸収入 (受託収入等の他の収入科目に含まれないもの)	26,042,061 円 (0.5%)
組合債 (金融機関等からの借入金)	229,500,000 円 (4.2%)
国庫支出金 (一定の事業に使いみちを特定して国から交付されるもの)	51,244,000 円 (0.9%)
県支出金 (一定の事業に使いみちを特定して県から交付されるもの)	810 円 (0.0%)
歳入合計	5,422,616,666 円 (100%)

歳出

議会費 (議員報酬等の議会運営費)	5,658,634 円 (0.1%)
総務費 (組合管理者・公平委員・監査委員等の特別職の報酬等の経費)	4,039,935 円 (0.1%)
消防費 (消防・救急等に必要経費及び消防施設の建設費等)	5,016,743,382 円 (93.7%)
公債費 (借入金の元金、利子の返済のための経費)	326,665,796 円 (6.1%)
予備費 (予見することのできない歳出予算の不足に備えて計上される費用)	0 円 (0.0%)
歳出合計	5,353,107,747 円 (100%)

*比率(%)の合計は、端数処理の関係で100%とならない場合があります。「0.0」は、該当数値はあるが表示単位未満のものです。

川越地区消防組合議会が開催されました。

○令和2年第4回臨時会(令和2年12月24日開会)管理者提出議案

議案番号	議案名	議決結果
議案第12号	川越地区消防局・川越北消防署新庁舎建設事業用地の取得について	原案可決
議案第13号	令和2年度川越地区消防組合一般会計補正予算(第2号)について	原案可決



消防局警防課
Tel.222 - 5891



この講習会で得た知識、技術を活かし、今後も安全・確実に消防車両を運用し、迅速な災害対応を心掛けていきます。

令和2年11月12日と13日の2日間、消防車両による交通事故の撲滅を図るため、東武バスウエストの現役ドライバーを指導員に迎え、交通安全に関する講習会を実施しました。
この講習会では、きょうあい道路の通行、縦列駐車などを行い、運転技術、事故防止意識及び運転手と誘導員の意思疎通の向上を図ることができました。

交通安全講習会
実施しました。



写真左から
株式会社ジュンテクノサービス 代表取締役 引野 潤 様
川越地区消防局 消防局長 比留間 富雄

当消防局では、住民皆さんの安全・安心な生活を守るため尽力していきますので、今後とも、皆様のご理解とご協力をよろしく願います。
消防局警防課 Tel.222-5891

令和2年11月1日、株式会社ジュンテクノサービスと、災害時の情報収集に関する協定を締結しました。
この協定は、大規模な災害が発生し、地上からの情報収集が困難な場合、民間事業者が保有する無人航空機(ドローン)を活用し、空撮による情報収集を実施するもので、被災状況の全体像を速やかに把握でき、有効な災害対策を図ることが可能となります。

「災害時における無人航空機による情報収集活動の協力に関する協定」を締結



消防だより

虹のマーチ

2021.3
第48号

□発行/川越地区消防局 総務課

〒350-0823 川越市神明町48-4 Tel.049-222-0741

http://www.119kawagoechiku.jp/

Fontworks
UDFont

火事・救急・救助は119番 災害情報テレフォンサービス Tel.0180-994-310 *かけまちがいにご注意ください。